米国最高裁判所判事 Antonin Scalia 氏の死去に伴う後任候補に関する報道

2016 年 3 月 14 日
JETRONY 知財部
今　村　、　丸　岡

Supreme Court of the United States（アメリカ合衆国最高裁判所）の Antonin Scalia 判事[1]が、狩猟旅行に出かけた先の友人宅にて、就寝中に死去した。享年79歳だった。Scalia 氏は 1986 年にレーガン大統領の指名を受けて最高裁判事に就任し、以後、保守派判事として知られていた。

オバマ大統領は、「故 Scalia 判事の後任は時期を見て指名する。上院に対して指名の遅延なき承認を要請する。」とコメントしているが、後任判事については様々な人物の名前が挙がっている。

LAW360 誌では、後任候補としてコロンビア特別区巡回区控訴裁判所の Sri Srinivasan 判事[2]が挙げられている。Srinivasan 氏は政治的穏健派で、ブッシュ政権時に訟務長官室職員[3]を務めた経歴を持つ。またポジティブな要因として、上院は 2013 年、オバマ大統領による同氏のコロンビア特別区巡回区控訴裁判所判事への指名を賛成 97・反対 0 で承認している。共和党はオバマ大統領の最高裁判事指名を阻止する姿勢を見せているが（後述）、同党の政策スタッフの間では Srinivasan 氏の最高裁判事就任を支持する声が強いという。

一方、NBC News 局によると、オバマ大統領は連邦巡回区控訴裁判所（CAFC）の Jimmie Reyna[4]判事を候補として検討していると報道している。Reyna 判事はニューメキシコ大学ロースクールで法務博士号を取得したメキシコ系アメリカ人で、Mexican American Bar Association of Texas の Benny Agosto Jr.会長は「Reyna 判事は一流の法律家で Apple v. Samsung 事件など主要事件の判決で意見を執筆し、また、司法府の中で非常に尊敬され、政治でなく法律に基づき判断を下す」とコメントしている。あわせて、Hispanic National Bar Association も全面的な支援を表明している。

しかしながら、Mitch McConnell 上院多数党院内総務（ケンタッキー州選出、共和党）および Chuck Grassley 上院司法委員会委員長（アイオワ州選出、共和党）は、「最高裁判事の後任は次期大統領により指名されるべきである」と発言しており、今後の上院の動向が注目されている。

---

[1] 同氏略歴　http://www.supremecourt.gov/about/biographyScalia.aspx

[2] 同氏略歴　https://www.cadc.uscourts.gov/internet/home.nsf/Content/VL+-+Judges+-+SS

[3] 最高裁判所において、国が当事者となっている訴訟に際し、政府の為に弁論を行う職員。

[4] 同士略歴　http://www.cafc.uscourts.gov/judges/jimmie-v-reyna-circuit-judge

知財関連への影響として、今後上院では最高裁判事指名に関する作業の比重が高まり、上院司法委員会を通過した PATENT 法案（S. 1137）[5]の本会議審議が遅れることが予想される。

以上

[5] 2015 年 6 月 5 日　上院司法委員会、PATENT 法案を賛成 16・反対 4 で可決